

暁星ウォーカーソン (11月21日)

ご協力ありがとうございました

全校生徒・教員と保護者・PTAのOB・卒業生を加えた182人が加悦～京都暁星高校(約26km)を約7時間かけて歩きました。



今年は新型コロナウイルス対策のため15の小グループで歩く形でのウォーカーソンとなりました。足の痛みを感じつつも励まし合って学校を目指しました。



スポンサーになって下さった方(2,847人) 11月30日現在

支援先

- ①ネパールでの水道パイプラインの敷設
- ②フィリピンでの井戸の建設
- ③ミンダナオの学生へのスカラシップ
- ④東北震災復興支援(福島県南相馬)
- ⑤J LMMのカンボジアでの活動支援



生徒の感想から

私にとっては具体的に誰かのために動いた初めての活動でした。たぶん京都暁星高校に来なければこのようなことはしなかったと思うので、しっかりと参加しました。スポンサー集めでは、春のウォーカソンではどうしたら良いのか分からず家族にしか頼みに行きませんでした。今回は自分から頼みに行き、久しぶりに友達と話することもできました。当日は思ったよりも距離があつてとても疲れました。途中から足が痛くなり疲れが増していきました。しかしそれ以上に他の国では私より小さい子供たちが大変な思いをして水汲みをしていると知り、いろんな人のために助け合いができればいいなと思いました。この活動を通して知ったことや感じたことを大切に、これからも過ごしたいと思います。(1年生)



昨年のウォーカソンで、私は支援先のことよりもスポンサーになってくれた人に感謝していましたが、今年は支援先がどんなところかを聞くことができ、支援先の人のことを思って歩きました。歩くことは昨年よりも苦には感じませんでしたが、周りに足が痛いと言っている人もいたし、私自身も足が痛くなりました。でもお互いに励まし合ったり、声を掛け合って何とか26kmを歩くことが出来ました。

私たちが感じた痛みは支援先の人に比べたら全然たいしたことではないかも知れませんが、私たちの思いが届いてくれたら嬉しいです。ネパールの状況を聞いたとき、心が痛くなる話もありました。自分の無知を思いましたが、知った以上何か自分にできることを考えなければならぬと思いました。来年も頑張ります。(2年生)



コロナ禍の中ですが今年もウォーカソンを行えたことに深く感謝します。天候にも恵まれたこともありがたかったです。僕にとっては最後のウォーカソンでしたが毎度のごとく足がかなり痛みました。段々と踏み出す一歩が重くなってきましたが、確実にゴールに近づいているのが分かっていたので決して暗い気持ちでは

ありませんでした。ただ、ネパールやフィリピン・災害を受けた地域の人々には、明確なゴールや安定した明日がある訳ではありません。今私たちにできることを精一杯行って、クリスマスのテーマのよう「闇に光を」灯せる私たちでありたいと思いました。小さなことでも積み重ねていきたいです。

(3年生)